

# おすすめ 資材

金谷堂農経済センターが  
おすすめします!



有機100%ポカシ肥料『龍王』

## ◎価格・規格

20kg **1,728円(税込)**

## ◎特徴

あらかじめ微生物による発酵過程を経ているので、作物に吸収されやすい状態に分解されています。海や山の素材、動植物性の素材など、様々な原料を使用しているため、土壌微生物相を豊かにします。また、有機質由来の成分が、発酵により濃縮され、作物がじっくり育つことで味や香りが向上します。

## ◎使用方法

施肥基準 1a当り

一般野菜 7.5～15kg

茶・果樹 20～30kg

まきやすいようにペレット状になっています。土壌条件によって施肥量は増減します。また、気象条件によって、施肥時期が変わってくるので注意しましょう。

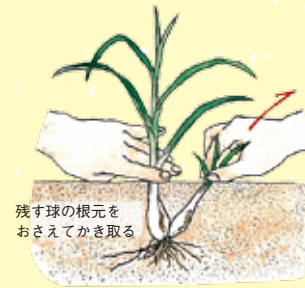
詳しい使い方や使用量は、  
最寄りの営農経済センターへ

## 栽培カレンダー



## ⑤ わき芽かき

草丈15～18cm頃、分球して芽が2本伸びた株があれば、わき芽をかき取り1本にします。



## ⑥ 花蕾摘み

4月～5月頃になると、とう立ちしてくるので、花蕾を摘み取ります。そのままにしておくと花に養分が吸われ、地下部の肥大が損なわれてしまいます。ただし、摘み取る時期が早すぎると球が分かれてしまうので、注意しましょう。

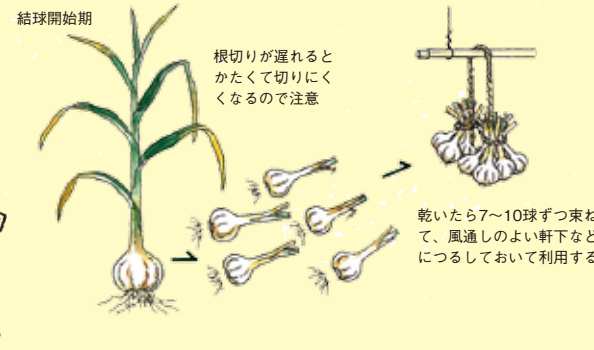
Point!

葉の先端より長く伸び出す時が、花蕾の摘み取りの適期です。



## ⑦ 収穫

葉茎の2/3くらいが枯れてきたところに収穫します。収穫後、すぐに根を切り離して、畑で2～3日乾かしましょう。



## ① 種球の準備

あらかじめ外側の薄い皮をむき、分球を丁寧にばらします。分球に病斑がついているものがあれば、取り除きましょう。



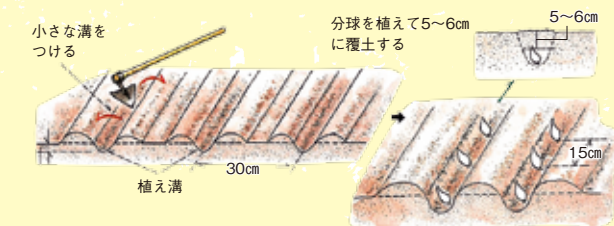
## ② 畑の準備

元肥を施し、15cm位の深さによく耕します。



## ③ 植え付け

30cm間隔で植え溝を掘っていきます。植え溝に分球を15cm間隔で置いていき、5～6cmくらい覆土します。



## ④ 追肥・中耕

10月と12月、春先の3回に分けて茶果菜10号を追肥し、中耕します。春遅くなってからのちっ素の運効きは禁物です。



おいがわ 今月の作物  
**はたけ日和**



# ニンニク

・植物分類 ユリ科 ・原産国 中央アジア

ニンニクは糖質やビタミンB1が多く含まれ、古くから香辛料や強壮剤として利用されています。古代エジプトでは、ピラミッド建設労働者に疲労回復として使われていたともいわれています。冷涼な気候を好みますが、耐寒性はあまり強くなく、耐暑性も弱いので夏には枯れて休眠に入ります。

若い葉を収穫すれば葉ニンニクに、若い花茎をのばして収穫すれば茎ニンニクとして利用できます。用途がいっぱいあるので、たくさん食べて元気になりましょう。



金谷堂農経済センター 嵐口 広介